

なるほど! ザ・ファンド

Q & A

Vol.237

Q.

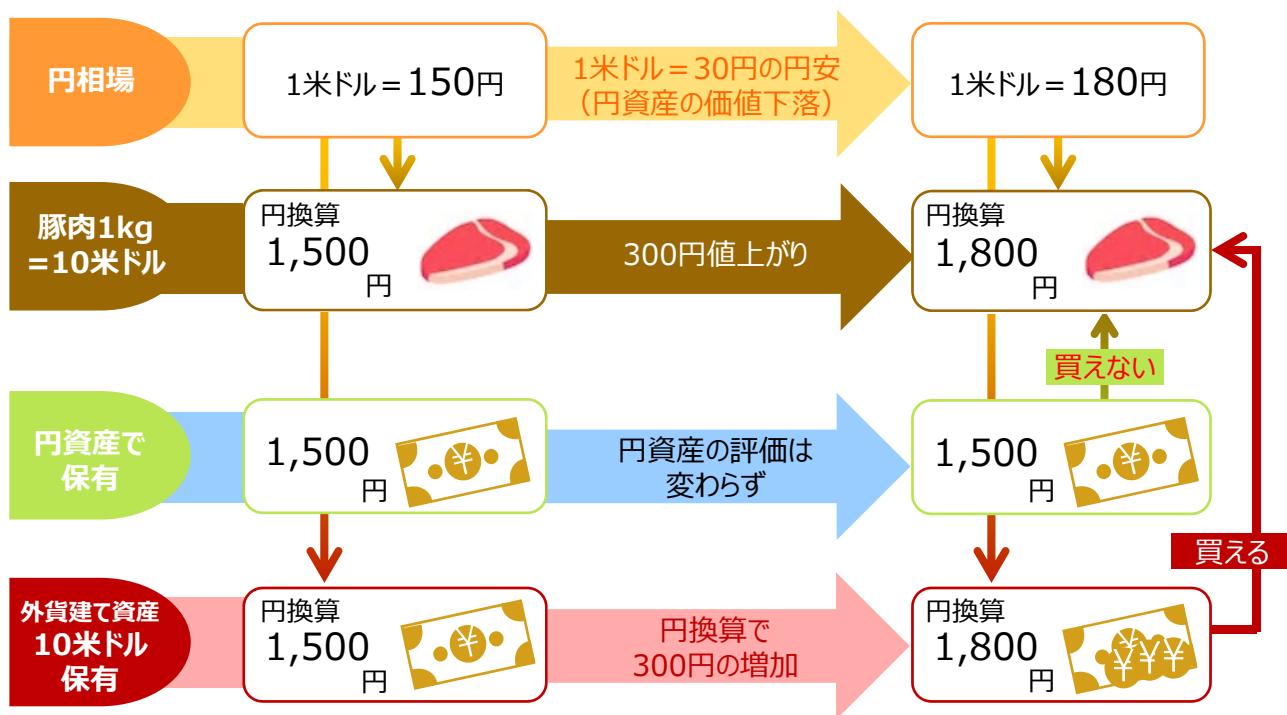
なぜ外貨建て資産を持つことが大切なの？①

A.

食料や原材料などの多くを輸入に頼っている日本において、円安が進むと物価上昇により資産価値は実質的に目減りします。外貨建て資産を保有することで、資産価値の目減りを抑える効果が期待されます。

- ◆ 日本の食料自給力は世界的に低く、食料や原材料などの多くを海外からの輸入に頼っています。そのため**円安が進むと、輸入されるモノの値段の上昇を通じて、国内物価に上昇圧力がかかる可能性**があります。このようなケースで外貨建て資産を保有していれば、仮に物価が上昇した場合には、資産価値の実質的な目減りを抑える効果が期待されます（円高になった場合には、逆効果となります）。
- ◆ 例えば1kg=10米ドルの豚肉を輸入した場合、豚肉価格は1米ドル=150円の時には円換算で1,500円ですが、1米ドル=180円となると1,800円に値上がりしてしまいます。円安が進むと当初の1,500円では購入できず、同量の豚肉を買うためには、お金を追加して支払わなければなりません。しかし、外貨建て資産を保有した場合には、円安によって円換算の価値が増加するため、お金を追加しなくても値上がりした豚肉を購入することができます。
- ◆ このように、**資産価値の実質的な目減りから守るためには、足元の為替水準や物価動向を踏まえ、外貨建て資産の保有を含めた資産運用を考えることが大切です。**

円安の進行により物価が上昇した場合



(注) 円高の場合は、上記とは反対に円換算の評価額は減少します。

※上記はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。

※イラストはイメージです。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭各商品の説明書等を必ずご覧ください。

**三井住友銀行**

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会